

「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する基本方針(案)」に対する要望

当協議会は、関西国際空港を首都圏空港と並ぶ国際拠点空港として再生・強化するという経営統合の目的の実現に向けて、国土交通大臣が定める両空港の基本方針の策定にあたって、本年３月、「関西国際空港の国際ハブ化を求める要望書」を国に提出し、要望を行ったところ。

今回、国から示された基本方針(案)については、関空の国内外のネットワークの強化や着陸料等の戦略的な設定、高速鉄道を含む関空アクセスの強化など、関西国際空港の強化方針が明確に打ち出されるとともに、伊丹空港について、その廃港も含め将来の在り方について今後検討する、とされるなど、当協議会の要望の趣旨について相当程度反映されており、評価できるものである。

しかし、関空の成長目標が具体的に示されていない中での性急な伊丹空港のプロペラ機枠の低騒音機材への転換については認めることができない。さらに、伊丹空港については、早期に廃港すべきであり、その廃港時期については、明確にされるべきであると考えている。

今後、国におかれては、本協議会としてのこうした意見を踏まえ、関西空港の国際拠点空港としての機能の再生・強化に全力で取り組まれない。

平成24年6月13日

国土交通大臣 羽田 雄一郎 様

泉州市・町関西国際空港対策協議会
会長 福山 敏博